

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>		ドイツ語ⅡA（会話） D2201 Spoken German II A				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 田邊 玲子 人間・環境学研究科 外国人教師 TRAUDEN, Dieter			
群	外国語科目群			分野(分類)					使用言語	日本語及びドイツ語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	水2		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
ドイツ語ネイティヴ・スピーカーと日本人教員との共同授業である。											
テキストは、Arkona, Malte u. Ute Löwenberg: Gibt es bald keine Eisbären mehr? So verstehst Du den Klimawandel. （『ホッキョクグマは近いうちにいなくなるのだろうか？ 気候変動がわかる本』） Mit Illustrationen von Frank Wowra. Freiburg/Br., Wien, Basel 2010.からの抜粋を用いる。 これは気候変動／地球温暖化について、比較的簡易なドイツ語で説明するティーンエイジャー向けの書籍である。環境問題について、ドイツでは子どもたちにどのように教えられているのかを知るとともに、その用語や表現を学ぶ。 初級で学んだドイツ語の基礎を生かしながら、より複雑なテキストを読んで理解し、さらにドイツ語を聞き、話し、簡単な文章を書けるようにすることを目的とする。											
[到達目標]											
テキストの読解力をつけるとともに、ドイツ語で内容について話し合いながら、ドイツ語の表現の仕方を練習することで、実践的なドイツ語運用能力を身につけることを目標とする。											
[授業計画と内容]											
テキストの逐語訳は行わないが、毎回決められた範囲を予習してきたうえで、授業時にドイツ語でテキストについて話し合う。基本的にドイツ語和訳はせずに、ドイツ語での理解をめざすが、ポイントとなる箇所については、訳してもらうこともある。 第1回 授業は基本的にドイツ語で行うため、最初の時間に、ドイツ語での質問の仕方等を学ぶ。 第2回～第14回 テキストについて話し合う。 ドイツ語での質問や説明は、みなが理解できるように、ゆっくり、繰り返して行うので、最初とはまどうかもしれないが、回を重ねれば、ドイツ語に慣れることができる。 必要に応じて、日本人教員が日本語で説明することもある。 最初はテキストゆっくり丁寧に読むが、授業のやり方やテキストに慣れるにしたがって、1回に扱う量を増やしてゆきたい。 第15回 期末試験 フィードバックの方法は、別途連絡します。											
[履修要件]											
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。											
[成績評価の方法・観点]											
授業参加度、授業中に確認できた達成度（50％）、および学期末の筆記試験（50％）に基づいて成績評価を行う。授業に参加することが成績評価の大前提であるので、欠席が多い場合は単位はドイツ語ⅡA（会話）D2201(2)へ続く↓↓↓											

ドイツ語ⅡA（会話） D2201(2)

認定できない。詳しくは第一回目の授業で説明する。

[教科書]

使用しない
プリント配布

[授業外学修（予習・復習）等]

予習の範囲はその都度指定するので、必ず下調べをしておくこと。わからない箇所は、授業中に質問を受けつけ、説明する。質問をすることも練習のうちなので、予習にさいしては、なにがわからないかを明確にしておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]